



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 田中 武
- 幹事 門前 庄次郎
- 会報委員 田中 正躬



冬の気配 蜘蛛 康介

<会長の時間>

今週も、飛騨春秋・1997 年・平成 9 年 6 月号より、『まさご』開業者 坂口 時宗 氏 の話です。

昭和十八年八月、戦争に召集されました。海軍です。私は大正三年越中八尾生まれ、家内は大正六年産まれです。呉の海軍に入隊すると、二十人程呼び出されまして、多分今の調理師の仕事をしていた若者達でしょう。私も仲間でした。すぐ、しゅうまいを作れという課題で競争させられました。ちょっとした要領で、支那そば作りも役立って、一番多く、うまく作れたので一位になりました。おかげで、厨房の仕事に専門に、兵長という階級まで進みました。終戦で無事帰還できたのでもちろん高山に帰りました。食糧が無く、主食代用として、何とか『支那そば』を復活したかったのです。高殿さん、古川さん、新井さんからコンニャクを仕入れて、知人の森脇さんにトタン板で細工してもらったコンニャク突きで、糸コンニャクを作り、麺の代用にして商いました。ひじきを麺代わりにもしたこともあります。ひじきは二十日程でやめました。屋台商売が根っこから好きだったのです。それに、迎えてくださった高山の人達の、人柄の良さと、その人達の語りが出来るということでやる気を出したのです。食糧の統制が厳しくて、小麦粉を手に入れても、商売に出すと取り締まられて何ともならなくなります。そこで、わらび粉を仕入れて、少々わらび粉で作ったと言い逃れるためでした。一年半程そんなことをやっていました。『支那そば』が、支那という言葉は、中国を蔑視している言葉だとして、強い抗議を受けました。支那人、朝鮮人、と戦中に蔑称として使っていたことも本当のことでした。終戦と同時に敗戦国と戦勝国が逆転してしまったのです。



<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|------|---------|------|------|---------|
| 前々回 | 34 名 | 12 名 | 46 名 | 46 名 | 100.00% |
| 本日 | 35 名 | — | 35 名 | 46 名 | 76.09% |

<幹事報告>

◎R I 理事

北 清治 氏、杉谷 卓紀 氏より
・R I 会長ゲイリー CK ホアン
ご夫妻をお迎えして
「ジャパン・ロータリーデー

II in 東京」開催のご案内
日 時 2015 年 2 月 4

日(水) 14:00~19:30

会 場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA

登録料 17,000 円 締切 12 月 5 日(金)

<受贈誌>

地区事務所 (RAC 10 月例会報告)



<本日のプログラム>

青少年育成委員会

青少年育成委員長 小田 博司

本日は青少年育成委員会の担当例会です。ゲストスピーカーとして岐阜県立斐太高等学校長



堀川 厚則 様にお越しいただきました。早速略歴をご紹介します。

1956 年高山市吹屋町のお生まれ。1979 年愛知県立芸術大学美術学部日本画卒業。守屋多々志、片岡球子に師事。芸術学は呉裕二、川上実 に師事。芸術心理学、パントマイムを学び、東京芸大研究室に 2 年間通い 桜林仁に師事。1980 年岐阜県益田高等学校教諭。1984 年加納高等学校美術科に転勤 日本画専門を 15 年間担当。2002 年岐阜県美術館課長補佐として学芸で展覧会等を担当。スクールミュージアム、飛騨生活文化センターの展覧会等。2008 年岐阜農林高校、各務原西高校教頭。アートセラピーとして不登校生徒を支援、大巻伸爾等のアートイベントを開催。2012 年関市立関商工高等学校長として関市に出向。AKIRA NAKA ファッションデザイナーを招き制服を改訂。2013 年斐太高等学校長として県職に復帰されました。また当クラブ 堀川 和士 会員の弟さんでもあります。どうぞ宜しくお願いします。

例会報告



見えるものは見えないものにつながり

見えないものは見えるものにつながっている

岐阜県立斐太高等学校長 堀川 厚則 様

心に浮かばないイメージは描けないように、イメージを心に描けないという「自分」に向き合うことは苦しみでしかない。

チャーリー・チャップリンはいう「人は遠くから見れば喜劇だが、近くから見れば悲劇だ。」芸術といえるものは人の励ましや癒しになっているかもしれないが、つまるところ本人が苦しんでいるものほどいい作品なのです。傑作と呼ばれる作品は調子のいい時の作品ではなく、最も追い詰められた時のつらい時期に成立していることが多いもので、その中身はこれは見えてこないのです。

私は高山に生まれ18歳で名古屋に出て日本画の勉強を始めましたが、紆余曲折。絵画、演劇、心理学、科学史、キリスト教など自分探しの毎日で、果ては人と関わり観察ができる教師として継続しています。人は時間の中を泳ぐ魚で、目先のことに振り回され、条件反射だけで生きているようなもの。偽物のうまそうな疑似餌につられて世俗に釣上げられてしてしまう憂き目にあうことだけは避けたい一心で、軸足を美術に置いてやってきたのです。

そこで人間の意志と創造にかかわる問題に向かうと山の向こうに見えてくるものがありました。日本の心の寄りどころを求めてさまよう様は、日本画の特徴で自然の中に溶け込んでいくような自然観は崇高な何かを求めていました。

人間の感性には構造があって、段階を踏んで組み立てないと壊れやすく、何も積み上げていくことができないのです。その構造を形成する心の感性の素材には直観や意志、知識などに深く関わってなかなか一筋縄で紐解くことはできないように見えます。しかし、見つめる視点次第でよく見えるのです。

最近では宇宙138億年の歴史も人の精神のルーツも見渡せるようになりました。1000年間で人開け高々50世代、動物や昆虫は1000世代から10000世代の生まれ変わりがあるわけですから、紐解く視点の一つとして隠された見えないつながりは愛情やコミュニケーションカこそ繁栄の土台となっていて、話し合いのできないところでは悲劇が繰り返されてしまうのです。

目を見つめて語る母親のまなざしほど、脳と心の安定に欠か

せないものはありません。さらに言葉の力や遊びの主体性や柔軟さ、思春期の自我の確立まで]、7年から20年を要する大仕事です。大人になると自分を育てる力が強調される時代になっています。自分を振り返る力はセットで現実を理解することや広い視野を持つ環境がないと身に付きません。

私の家では生まれたばかりの雀と子供が16年間一緒に育ち生活しました。最後は目が見えず、飛べず、介護が必要でした。しかし、この小さな存在は家族の心の支えであり家族を一つにつなぐ強い接着剤の役割を果たしていたのです。呼べばやってきて会話し、怒り、甘えてくるのです。息子は思春期の危機を脱する手伝いをしてもらいました。その長生きには意味がありそうで娘が小学2年生から大学3年生で結婚し家を離れるまで、家の中を光で照らし続けてくれたと思っています。つながる見えない力は自分が配慮することだと学んだのです。家庭の中のつながり方は深い意味を待っています。親は子供の待つ問題の見なし患者といわれるように、子を見れば育て方が分かるのです。寂しさによる自己不在や決断力が養われていない場合は何か原因でしょうか。父親の存在がない場合や母親の過干渉だったりします。行為ではなくつながり方の問題なのです。社会が補完できることがありますので、斐大高校のボランティア生徒がスタディーサポーターとして母校の中学校へ学習支援に行くことを始めましたが少しは役に立つことを期待しています。

この世界の見えている物質は宇宙全体の質量の5%だけで、よくわからない見えない物質ダークマターが26%、ダークエネルギーとして69%などがほとんどを占めていることに加え「重力」というのはどういう力なのかよくわかっていません。重力はどうもこの見えない物質と両方に関わっているようです。見えるものと見えないものが互いに関わるための隙間を重力が埋めていることがどれほど大切なことか、そこにある重要な関係が見えない未来を豊かにしているのです。かなりおかしいかもしれませんが、物質と心とは空間とエネルギーがそうであるように一つではないかと思っています。

ヘレン・ケラーがいう [Blindness cuts you off from things, Deafness cuts you off from people.] 人とのつながりには目今耳のような器官を超えてもっと大きな関係が存在していると言っているのです。

芸術に戻りますが、人の営みは見える世界を見えないもので埋めていく優しい関係で成り立っているのです。人が心血注いで表現するのは、もっと純粋な形に焼き直すことで、人には見えない伝わりにくい感情を形に変えているのです。感動は同じレベルでなくとも、勝手な見方で見ることで心がはばたく自由を人に与える瞬間に起こっていると思うのです。そして、見えないものでつながる力は年齢を超えて人の感じ方の糧となって、心の構造をゆるぎない形に常に形を変え成長し続けているものなのです。

例会報告



<ニコニコボックス>

●田中 武さん、門前 庄次郎さん

・岐阜県立斐太高等学校校長 堀川原則 様にはお忙しい中、ご来訪賜り有難うございました。また、インターアクトクラブの活動ではホストクラブではありませんが、同じ地区として何かとお世話になり、有難うございます。10月26日の飛騨地区研修会も斐太高校の多くの生徒さんにも参加頂き、無事終える事が出来、感謝いたしております。本日後ほどの卓話を楽しみにしております。宜しくお願いします。

・昨日の「出前講座」反省会及びロータリーを語る会に参加頂きました皆様にはご苦労様でした。色々な意見を聞かせて頂き、有意義な会になった様に思います。有難うございました。

●小田 博司さん

本日は青少年育成全委員会担当例会です。岐阜県立斐太高等学校校長 堀川原則 様をお迎えしました。堀川様にはご多忙の中ご来訪賜り厚くお礼申し上げます。講話よろしくお願ひ申し上げます。

●小森 丈一さん、平 義孝さん

堀川斐太高等学校校長のご来訪を歓迎いたします。

●伊藤 松寿さん

斐太高校の堀川厚則校長先生のご来訪を心より歓迎申し上げます。有斐会の方でも何かとお世話になり感謝申し上げます。

●脇本 敏雄さん

斐太高等学校長 堀川厚則 様のご来訪を歓迎申し上げます。日頃は有斐会で大変お世話になっています。今日の卓話楽しみにしています。

●井辺 一章さん

本日のゲスト堀川校長先生の御来訪歓迎申し上げます。本日のスピーチ宜しくお願ひいたします。

●下屋 勝比古さん

堀川校長先生のご来訪を歓迎します。いつも大変お世話になっています。

●堀川 和士さん

本日は二人兄弟の弟、厚則が卓話をさせていただきます。破天荒な兄とは正反対の性格だと思いますが、宜しくお願いいたします。

●鴻野 幸泰さん

・堀川厚則 先生のご来訪を歓迎いたします。卓話を楽しみに聞かせて頂きます。

・本日本内 尚美の誕生日に花束をいただき誠にありがとうございました

●狭土 貞吉さん

昨日は緊張の連続の一日でした。朝から保護司会の理事会、研修会と続き、夜は出前講座反省会で緊張。勉強と反省の一日でした。ありがたいことです。

●山下 直哉さん

27日に夜6:30～医療法人三継会のセミナーを開かせていただきました。口腔ケアや摂食嚥下についてお話しさせていただきました。定員50名の所60名以上参加していただきありがとうございました。その為出前講座反省会を欠席してしまいましたのですみませんでした。

●山本 善一郎さん

プッチーニのトスカの中の歌曲『星も光りぬ』を久しぶりにテレビから流れる歌を聴き、日比谷公会堂でリチャード・タッカーを聴いたの思い出しました。60年ほど昔の事です。誰と行ったか思い出せない…

●垂井 政機さん

昨夜テレビ朝日の「いきなり黄金伝説」というお笑い番組で当社の『飛騨牛しぐれ寿司』を取り上げてくれました。お陰様で良い宣伝になりました。ありがたいことです。